

# 小屋鶴住宅の雨漏り改修

## 広次 ひろ っく 忠彦 通信

6月議会速報

2007年7月号外

日本共産党大分市議団



6月議会での質問と答弁の  
要旨をお知らせします。

### 雨漏りすべし対策を 自治体にも要望しよう...

(広次忠彦議員) 「雨漏り

がする。急いで改修して欲しい」と、小屋鶴市営住宅の方から要望がありました。「自治会としても要望しているが、いっこうにやってくれない」「合併前には年次計画で、屋根の改修をおこなってきたが、

合併後には、それを大分市が引き継ぐと聞いていたが、すすんでいない」などの声が寄せられました。必要な改修・

営繕などはきちんとおこなうべきであります。それを2年間もおこなわなかったことも問題です。屋根の改修では、雨漏りをしている住宅は早急に全部を改修し、その他の住宅は計画的に改修すべきだと考えますが、見解を求めます。

### 18年度からが

### 19年度にすれ込んだ

(土木建築部長) 「屋根の

改修については、平成17年11月に当時の自治委員さんから住宅課へ要望があり、雨漏りが心配される棟については、平成18年度から計画的な改修を行うことにしていたが、諸般の事情から、本年度にすれ込んだ」と答弁がありました。

(広次忠彦議員)

再質問で

「雨漏りしている棟は、年次計画でなくただちに改修すること、その他の棟について

は、年次計画ですべて改修するように」と要求しました。

### 営繕要求 すべし対策を自治体にも

(広次忠彦議員)

「水道の

配管が錆びている。破けないだろうかと壁紙をはりかえてくれたが、一部残っている。そこは見えないから必要ないといわれた」などの要望が寄せられています。必要な営繕などをすることが必要と考えますが、見解を求めます。

### 現地調査おこない 必要な営繕おこなう

(土木建築部長)

「今後とも

現地調査を行い、施設の緊急性、安全性等に十分配慮しながら、入居者の日常生活に支障をきたすことのないよう、必要な営繕を行いたいと考えている」と答弁しました。

### 実質空き家すべてを 改修して、抽選に

(広次忠彦議員)

「なかなか

か当たらない」空き家があるのになぜ入れないのか」など

の声が寄せられています。4月1日現在、実質空き家が87戸、今年5月の募集戸数は32戸。改修には一定の費用がかさむため、あまり汚れていない空き部屋から改修をおこない、募集をかけると聞きました。市営住宅などの改修は、中小業者の仕事を増やすことにもなります。実質空き家をすべて改修して、募集をかけること、改修の予算を増やすこと、見解を求めます。

### 現地調査おこない 必要な営繕おこなう

(土木建築部長)

「なお一

層の効率的な空き家改修に努め、多くの募集戸数を確保することにより、実質空き家の解消に努める」「限られた財源の枠内での優先度や緊急度等を最大限考慮して」と答弁しました。

(広次忠彦議員)

再質問で

「新たな建設より、改修のほうが安くできる。財政当局と話し合い、予算の確保に努めるように」と要望しました。